

レファレンスセンター等関連会議

寄生虫

世話人: 杉山 広(感染研・寄生動物)

1. レファレンスセンター会議・寄生虫

(1) 位置付けと課題

(2) 感染研と地研との活動等

2. 寄生虫症の発生状況

感染症法・食品衛生法

3. 話題の提供・情報交換

レファレンスセンター活動・寄生虫

- ・各ブロックの拠点となる地研は指定していない。
- ・課題となる寄生虫を選び、関連の地研・検疫所とメーリングリストを利用して情報交換(研修)。

・課題の寄生虫

- (1) 4類 マラリア, エキノコックス **(感染症法)**
- (2) 5類 クリプトスポリジウム, ジアルジア, 赤痢アメーバ

-
- (3) 食品媒介寄生虫 **(食品衛生法)**

クドア, サルコシスティス, アニサキス等

食中毒事件票・病因物質の種別

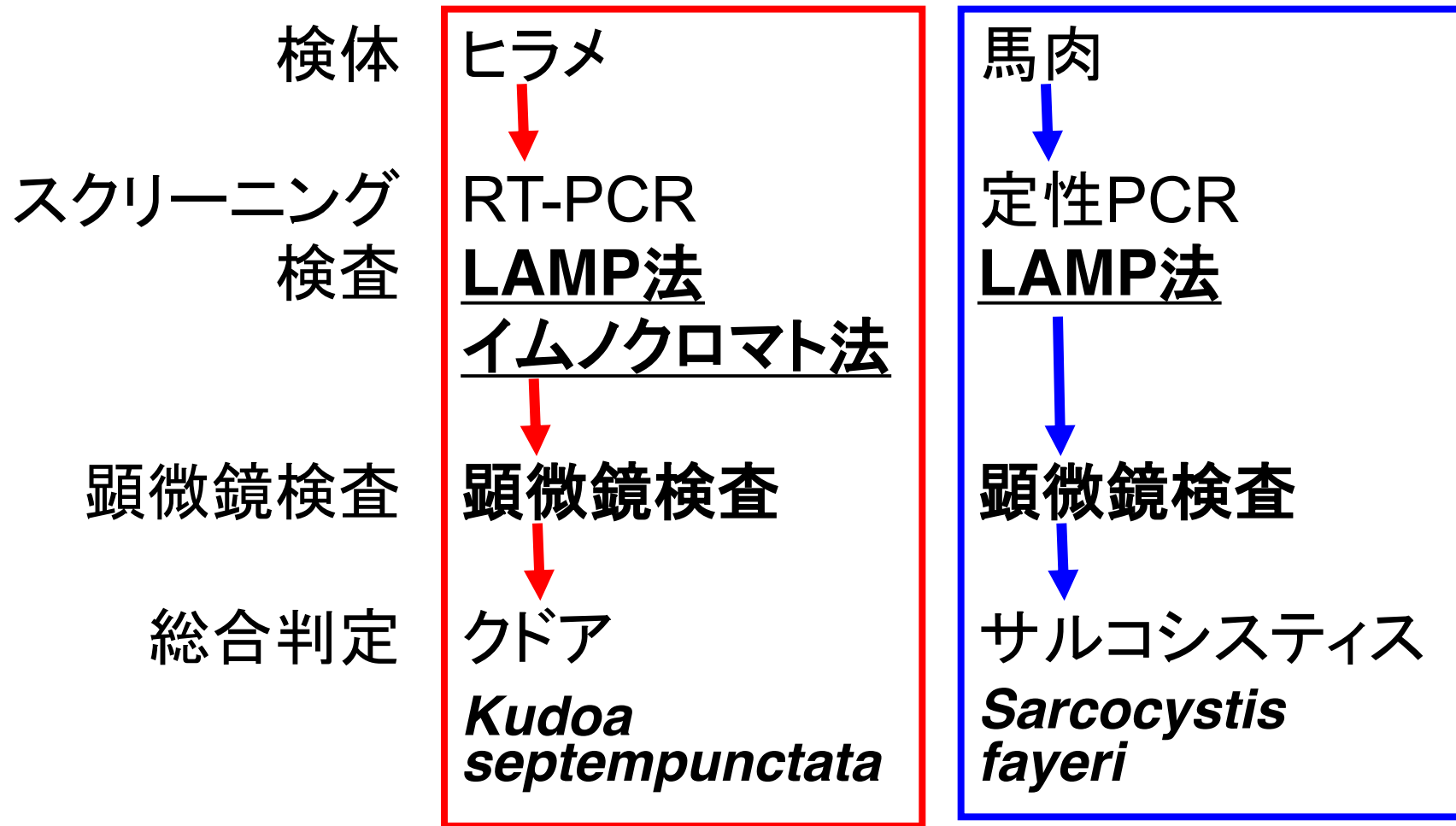
レファレンスセンター等関連会議：寄生虫

昨日の会議報告

話題の提供と情報交換（演者・所属：敬称略）.

1. **クドア**の新検査法(大西貴弘・国立衛研) 食品衛生法
2. **サルコシステイス**の新検査法(八木田健司・感染研)
3. **クリプトスポリジウム**の遺伝子検査(泉山信司・感染研)
4. **エキノコックス**:愛知のイヌにおける陽性事例
(森嶋康之・感染研)
5. **マラリア**の検査(案浦 健・感染研) 感染症法
6. **ジビエ**による寄生虫の感染リスク(杉山 広・感染研)
7. **蟯虫**の検査(杉山 広・感染研) 法改正

クドア・サルコシステイス: 新検査法



2016年4月27日・通知 検査法改訂→暫定版の廃止

2015年7月2日・事務連絡 食中毒調査に係る病因物質不明事例の情報提供について(協力依頼) → 国立衛研・大西貴弘室長
衛生微生物部

クリプトスポリジウム：水道（河川水等）の検査

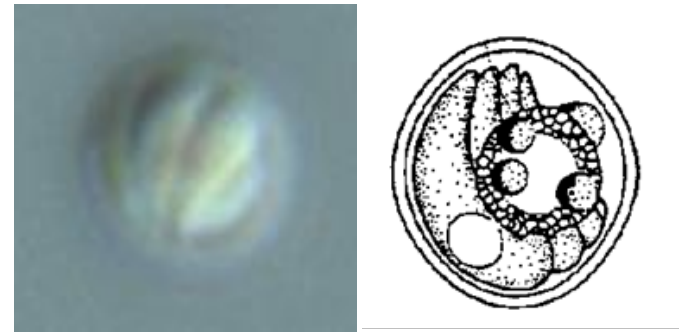
・ 遺伝子検査法の追加

（従来は顕微鏡にて検出，水道水20L，水道原水10Lに1個の検査）

rRNAからの逆転写RT-PCRで高感度に検査

→塩基配列決定→汚染源調査、対策

患者検体、食品(?)にも応用可能



水道における指標菌及びクリプトスポリジウム等の検査方法について【健水発第0330006号通知（一部改正平成24年3月2日健水発0302 第2号）】

エキノコックス：愛知の犬における陽性事例



2014年3月：愛知県知多半島

抑留犬からエキノコックス虫卵検出

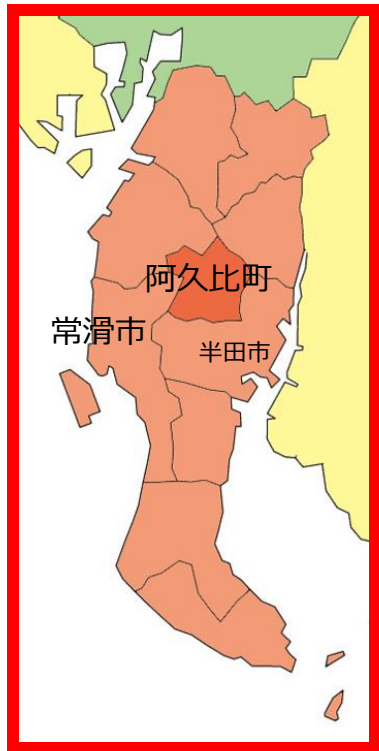
感染症法で本州以南の第2例(多包条虫)

(第1例：2005年・埼玉)

2015年12月：野外採集された犬糞便67検体

1検体エキノコックス遺伝子を検出

再検出は地域のエキノコックス定着を示唆



イヌのエキノコックス：獣医師に届出義務(感染症法・第13条)

ヒトのエキノコックス：医師に届出義務(感染症法・4類)

マラリア

マラリアは、エイズ・結核と共に世界三大感染症

• 世界における状況

- 年間の患者数は2億人以上であり、死亡者数は43万人以上。
- **薬剤耐性株**が多数報告され、全世界中に拡散分布

• 国内における状況（四類全数把握）

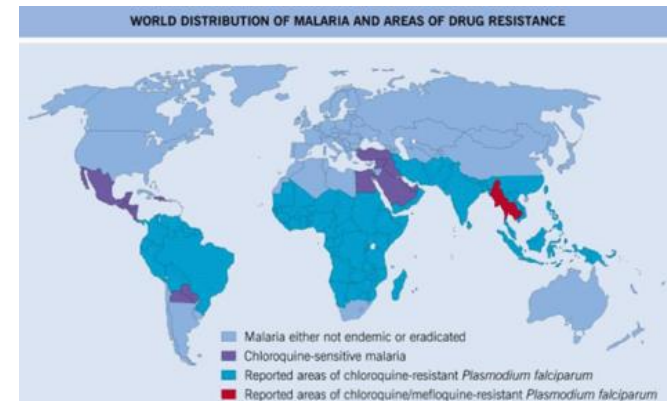
- 患者の全てが、海外渡航歴がある**輸入感染症**。
- 患者数は、**年間約50～100症例**で推移。

• 日本近隣諸国における状況

- **韓国において、再興感染症**として定着していることから注意喚起が必要（1978～1992年は撲滅）。さらに**2013年以降、患者が2年間で約83%増加**。

• 対応

- 全国検疫所を対象とした**検査技術研修会にて、講義と実習**（迅速診断キットのデモ、デジタル資料による鑑別診断トレーニング）と各検疫所の検査実施状況などの情報交換を行っている。



ジビエ(野生鳥獣肉)による寄生虫の感染リスク

鳥獣保護法(1963)→ **鳥獣保護管理法**(2015年5月施行)
「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」

- ・シカとイノシシの増加
→農産物や樹木・自然生態系への被害が深刻化
- ・鳥獣を管理・生息状況を適正化(・保護)
→捕獲した野生鳥獣を食用として利活用
→野生鳥獣肉の衛生管理に関する**ガイドライン**(2014年11月)
(**食品衛生法**)
- ・野生鳥獣肉が原因の食中毒事例・寄生虫
サルコシステイス(シカ肉・イノシシ肉):有症苦情事例・滋賀
肺吸虫(イノシシ肉):継続的に発生・九州南部

「**肉**は十分に**加熱**して喫食する」

蟯虫(ぎょうちゅう)の検査: 学校保健安全法

2014年: 蟯虫検査を必須項目から削除する(2016年度から)

- ・東京都・小学校・2013年度: 虫卵保有率 **0.15%**
→ 手洗いの励行・清潔の保持(で封じ込め可能と判断)
- ・沖縄県・小学校・男・2014年度: 虫卵保有率 **2.01%**
→ 九州の一部では検査の**継続**を自治体が表明

1. 蟯虫の検査→セロファンシート(検査キット)使用: **常識化**
2. 中小企業がセロファンシートの製造継続(大手は製造中止)
3. 受託機関・中小数社は検査継続(大手3社は検査中止)

寄生虫

世話人: 杉山 広(感染研・寄生動物)

1. レファレンスセンター会議・寄生虫
 - (1) 位置付けと課題
 - (2) 感染研と地研との活動等
2. 寄生虫症の発生状況
感染症法・食品衛生法
3. 話題の提供・情報交換



地研に寄生虫に関する問い合わせや検査の依頼があれば、是非引き受けて下さい。感染研・寄生動物部にその内容をご照会下さい。対応にご協力します。